

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用①

～総合的な学習の時間「目指せ！車尾観光大使！」（3年）の実践を通して～

①校外学習前に疑問をJamboardで出し合う

見学先をJamboardの背景にしてグループごとに、調べたいことや疑問を出し合う。

一画面に疑問をまとめて表示し、話し合いのメモとして、情報の共有に活用した。

（児童の意見）
・深田氏庭園は、なぜ国指定なのか。
・どんな歴史があるのか。

②校外学習では、カメラ機能を使って記録・調査活動



校外学習に出かけ、グループで1台Chrome bookで記録写真を撮る児童が撮った。その写真は、グループやクラスで共有し、詳しく調べたり、スライドにまとめたりする際に使用した。

③グループでの表現・制作



見学してわかったことやさらに詳しく調べたいことを図書館の資料やインターネットで調べた。

分かったことをGoogleスライドにまとめ、個人またはグループで編集・制作を行った。

④グループや学級全体での発表・話し合い



個人やグループでまとめたスライドを下級生に紹介した。



カメラ機能、ブラウザ検索、クラスルーム、スライド、Jamboard

リーディングDXスクール事業【実践事例】

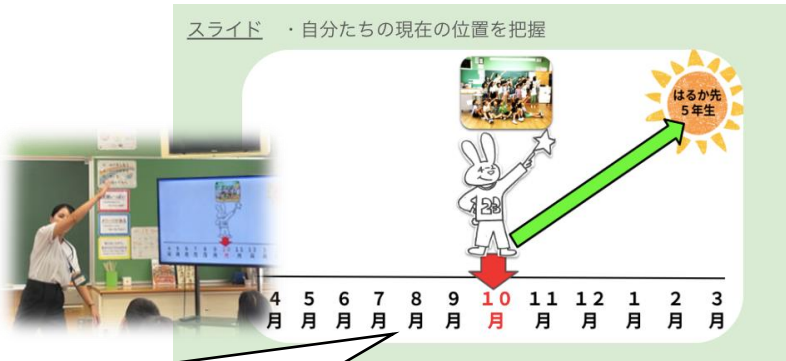
米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用②

～学級活動（3）「はるか先の自分たち」を目指して（4年）の実践を通して～

① 4年生前半の自分たちを振り返る。（つかむ）

A1（教員による教材の提示）



自分たちの現在の位置を把握し、ゴールをイメージ化できるようにする。

② 自分たちが目指すことについて考える。（さぐる・見つける）



事前アンケートをとり、学習のねらいに合わせて意図的に撮影したものを動画視聴した。

5年生のインタビュー動画を見る。

③ 5年生に向けて、なりたい姿とその姿になるためにできることをレベルアップカードに記入する。（決める）

B1（個に応じた学習）



④ 友だちと意見交換をし、活動への意欲を高める。（決める）

C1（発表や話し合い）



目指す姿とその姿に向けて今からできることを個人またはグループでJamboardに出し合った。



決めたことを学習支援ソフトに記入し、友だちと交流し合った。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用③

～道徳「世界人権宣言から学ぼう」（6年）の実践を通して～

①「自由」と「人権」について考える。

A1（教員による教材の提示）

「人権」の意味や人権宣言の条文、アンケート結果、発問、児童が自分の考えを書き込む際に共有しているスライドなどを大型テレビで提示した。



②教材「世界人権宣言から学ぼう」を読んで話し合う。

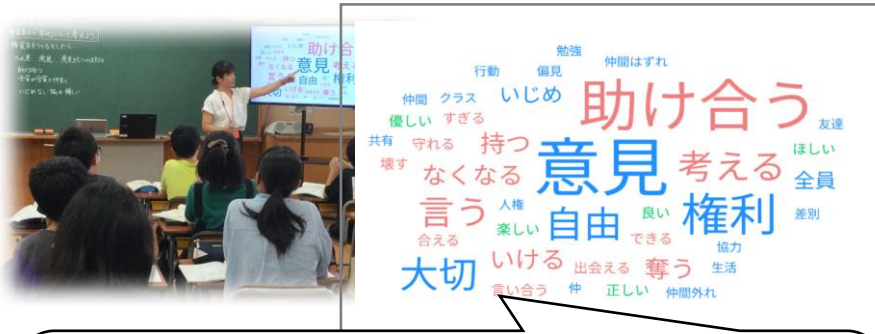
B1（一人一人の習熟の程度等に応じた学習）

Googleスライドやノートに、心に残った条文とその理由を書き込む。スライドは共有して他者参照できるようにし、自分に合った方法でまとめた。



自分の考えをノートにまとめる児童

友だちと考えを話し合いながら自分の意見をまとめる児童



アンケート作成ソフトを使って、事前アンケートを行い、その集計結果をイメージしやすくするためにテキストマイニングで表示した。こうすることで、子どもたちが学ぶ道徳的価値についてどのように捉えているのか、お互いの考えを可視化することができた。



スライドで他者参照したり、教科書を見たりしながら、一人で考える児童

リーディングDXスクール事業【実践事例】

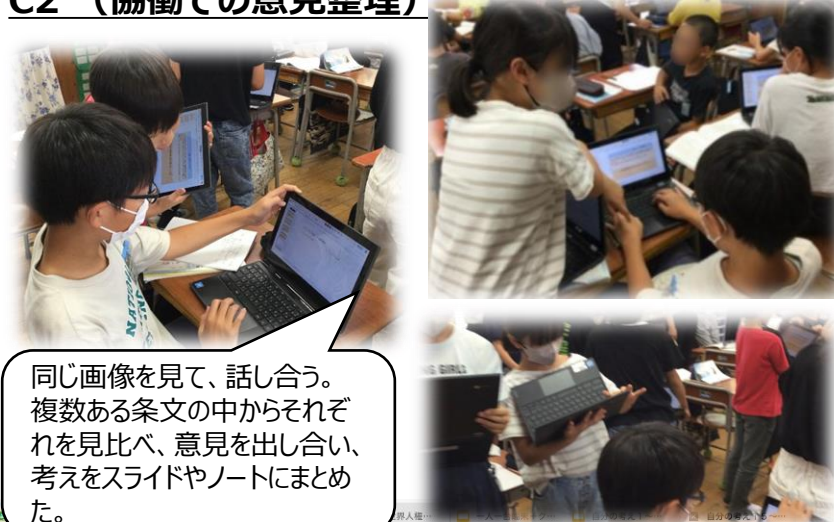
米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用③

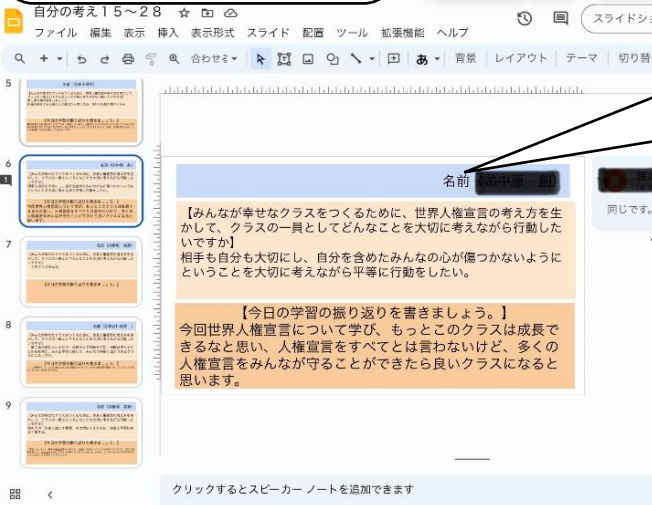
～道徳「世界人権宣言から学ぼう」（6年）の実践を通して～

③世界人権宣言の条文を見合い、話し合う。

C2（協働での意見整理）



同じ画像を見て、話し合う。複数ある条文の中からそれぞれを見比べ、意見を出し合い、考えをスライドやノートにまとめた。



スライドにはキーワードや短い言葉、短い文章で入力するようにし、文字を打ち込むのではなく考えることに集中できるようにした。

聞いてみたいことがあるときには、コメント機能を活用したり、直接聞きに行ったりした。

④世界人権宣言の条文を使って、反論する。

C1（発表や話し合い）



第19条「人には自由に意見を言う権利がある。だから人の悪口を言ってもいい。」と言う人に対して条文を使って、反論する。

グループで話し合ったことをもとにして、全体で共有した。



テキストマイニング、クラスルーム、スライド

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

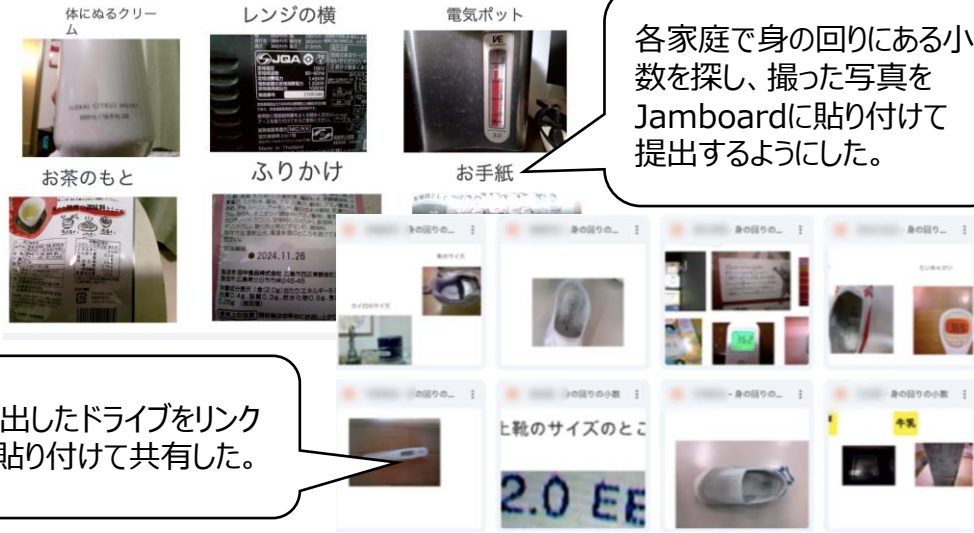
- ・端末の持ち帰りによる家庭学習の実施
- ・児童の発達段階に応じた課題（低学年、中学年・高学年）

① 端末の持ち帰りによる家庭学習の実施

児童の発達段階や学習の進度に応じて課題を出し、週1回程度はタブレットの持ち帰りを実施した。

学習内容の例

- ・キーボード練習
- ・漢字
- ・計算
- ・算数（身の回りの小数を写真で記録）
- ・算数（身の回りの立方体・直方体を写真で記録）
- ・家庭科（調理実習記録）など



各家庭で身の回りにある小数を探し、撮った写真をJamboardに貼り付けて提出するようにした。

提出したドライブをリンクで貼り付けて共有した。

② 1人1台端末の使用のきまりについて

低、中・高学年に分けて作成した「使用のきまり」を全校児童が1人1台端末の壁紙にし、学校でも家庭でも情報モラルを意識して使用できるようにしている。



自分のレベルに合わせてタイピングの基礎を学ぶことができ、子どもたちは意欲的に取り組んでいる。



学校教育情報処理研究会が作成したソフトを活用。

低学年	中学年・高学年
<p>車</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教室からつかいましょう。目を閉くときは、キーボードから手をはなして觸らぬ。 ② グローブアップをつかうときは、先生に聞いてからにしよう。 ③ 先生に呼ばれてから、ほかから出しましょう。 ④ 目を閉くときは、キーボードから手をはなして觸らぬ。 ⑤ ゲームなど学習には関係ないことはしません。 ⑥ 帰るまでには、ほかから出さず待つ。 <p>⑦ じゆぎょう中の約束</p> <p>⑧ 休けい時間の約束</p> <p>⑨ そのほかの約束</p>	<p>車</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 人が見ていないときは、家庭や教室に入室するときには、必ず「おはようございます」を言ってから入ります。 ② プログラムを起動するとき、授業以外の用途には許可をもらわぬ。 ③ 朝の会までにパソコンの電源を止し、帰るまでに先生に確認してもらわぬ。 ④ 授業以外の用途には、許可をもらわぬ。 ⑤ アンケートをついたら、先生に確認してもらわぬ。 ⑥ 授業等のシステムに勝手に変更しては、ならない。 ⑦ 休けい時間の約束 ⑧ モラルの約束 ⑨ 休けい時間の約束 ⑩ そのほかの約束

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化

- ・二次元コードを用いた欠席・遅刻連絡、参観日等感想アンケート、週案のデジタル化
- ・資料や教材等の教師間での共有

① 二次元コードを用いた欠席・遅刻連絡、参観日等感想アンケート、週案のデジタル化

欠席連絡

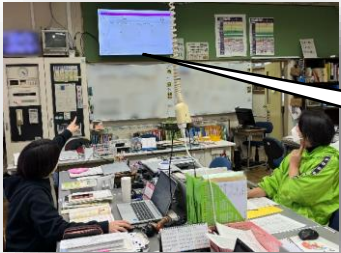


保護者アンケート



参観日や学校行事等のアンケートもフォームで実施し、アンケート結果は、大型テレビで共有した。

週案



欠席連絡・週案は、スプレッドシートで作成し、職員室のテレビ画面で常時提示している。

スプレッドシート、フォーム、Chat、クラスルーム

チャットで作った教材や授業の様子を情報共有した。

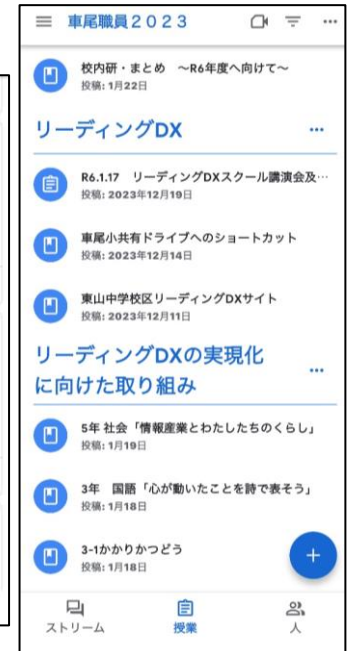


各自が作成した手順を添付することで、それぞれが自分のクラスルームですぐに活用することができた。

② 資料や教材等の教師間での共有

クラスルームに掲載するだけでなく、分からないことや新しい情報は、職員室で声をかけ合った。

クラスルームに、情報提供やお役立ち情報をアップし合った。



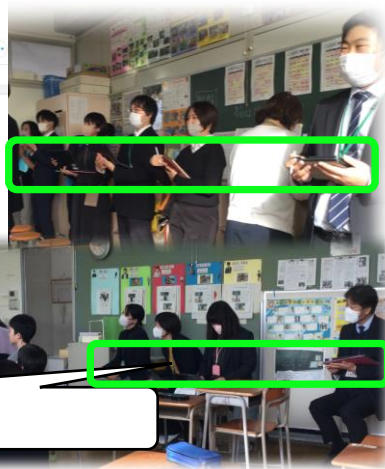
リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容④】 授業研究会・校内研修でのクラウド活用

～児童と同じ環境で授業活用イメージをもって教師も学ぶ授業研究会・校内研修～

① 授業研究会



1人1台端末でメモを入力しながら参観

指導案を背景にしたJamboardに付箋でコメントを入れながら授業参観をするようにした。事後研の話合いでは、すでに意見を出し合ったところから始めることができた。

② 事後研究会



グループ協議は、他者参照しながら、Jamboardを活用した。

児童が使用した1人1台端末とクラウドを同じように使いながら事後研究会を行うことで、利活用研修も同時に行った。

スライド、Jamboard、Chat、学習支援ソフト

③ 校内研修



Jamboardでメモをしながら進めた。

講義を聴きながら、Chatに挑戦。疑問に思ったことをすぐに解決できることもあった。



学びの振り返りは、学習支援ソフトを活用した。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容⑤】リーディングDXスクール事業指定校・共同ホームページ、共有ドライブ

- ・校区連携の柱として
- ・共有データの活用を目指して

①校区連携の柱として



校区連携の柱として、各学校の校内研究や実践記録などを掲載し、情報共有の場としている。

「東山中1年生で習得させる探究スキル」（東山中学校作成）をもとに、小学校で身につける情報活用能力を中学校区で共通理解し、指導に生かしている。



<https://sites.google.com/g.torikyo.ed.jp/dxhphigasshiyama-kuzumo-keijo/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

②共有データの活用を目指して



今年度作成したデータを学校共有ドライブに入れて学年、教科ごとに整理し、お互いの実践を参考にしたり、次年度以降活用したりできるようにしている。

サイト、共有ドライブ